

「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」 CBRNE 対応実習を開催しました (2019/10/06)

テーマ：Chemical(化学)、Biological(生物)、Radiological(放射性物質)、Nuclear(核)、Explosive(爆発物)
場所：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市）

2019年10月6日(日)、宮城県仙台市の東北大学災害科学国際研究所で「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」 CBRNE 対応実習が実施されました。宮城県内外の医療従事者（医師、歯科医師、看護師、薬剤師、放射線技師、救急救命士）20名が受講しました。

今回のCBRNE対応実習では、Chemical（化学）、Biological（生物）、Radiological（放射性物質）、Nuclear（核）、Explosive（爆発物）事案に接した際、病院として個人としてどのように対応すべきか、机上演習、実習を通じて学習しました。福島県立医科大学の島田二郎教授（災害医療部）らから CBRNE テロ傷病者診療への心構え、化学剤・生物剤への対応、爆傷への対応について講義を受け、その後サーバイメータを用いた患者、物品の表面汚染検査実習、CBRNE 災害に対する病院受け入れの机上演習を行いました。

「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」では年間を通じ、災害医療に関するさまざまな講演、実習を実施しています。当研究所の佐々木宏之助教（災害医学研究部門 災害医療国際協力学分野）は、プログラム運営企画委員会委員・実習コーディネーターを務めており、研修では会場責任者、講師として運営に携わっています。

次回は、10月20日(日)に災害急性期活動実習（エマルゴ演習）が予定されています。

年間の講義予定は「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」HP（<https://www.dcmd.hosp.tohoku.ac.jp/curriculum/entry/>）に掲載されており、オープン参加として履修生以外の参加も受け付けています。



講義を受ける履修生



福島県立医科大学島田二郎教授



サーバイメータを用いた計測実習



爆傷患者受け入れについてグループ討議

文責：佐々木宏之（災害医学研究部門）